

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年6月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 6 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 27 年 6 月）

埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

(2)水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	6月9日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

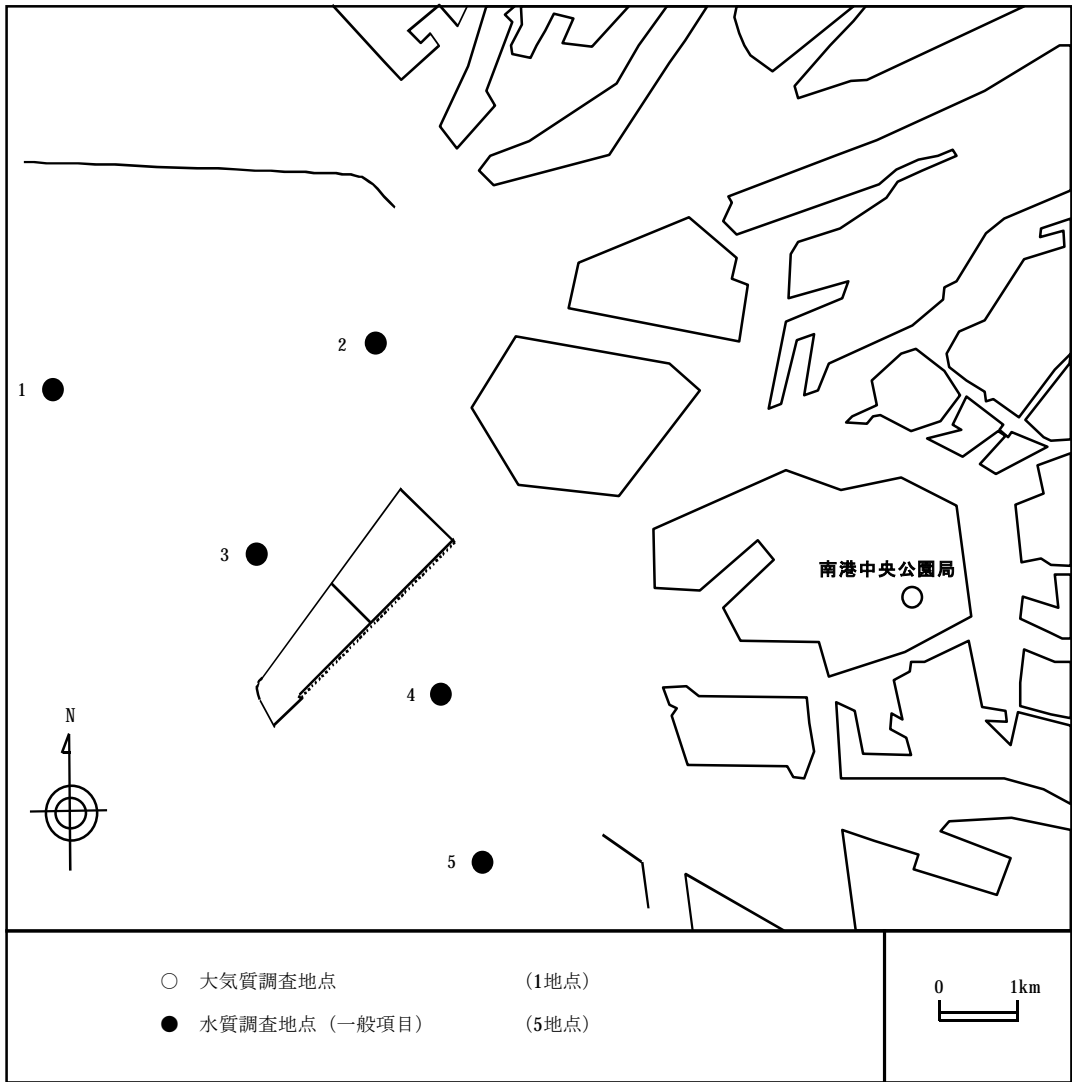
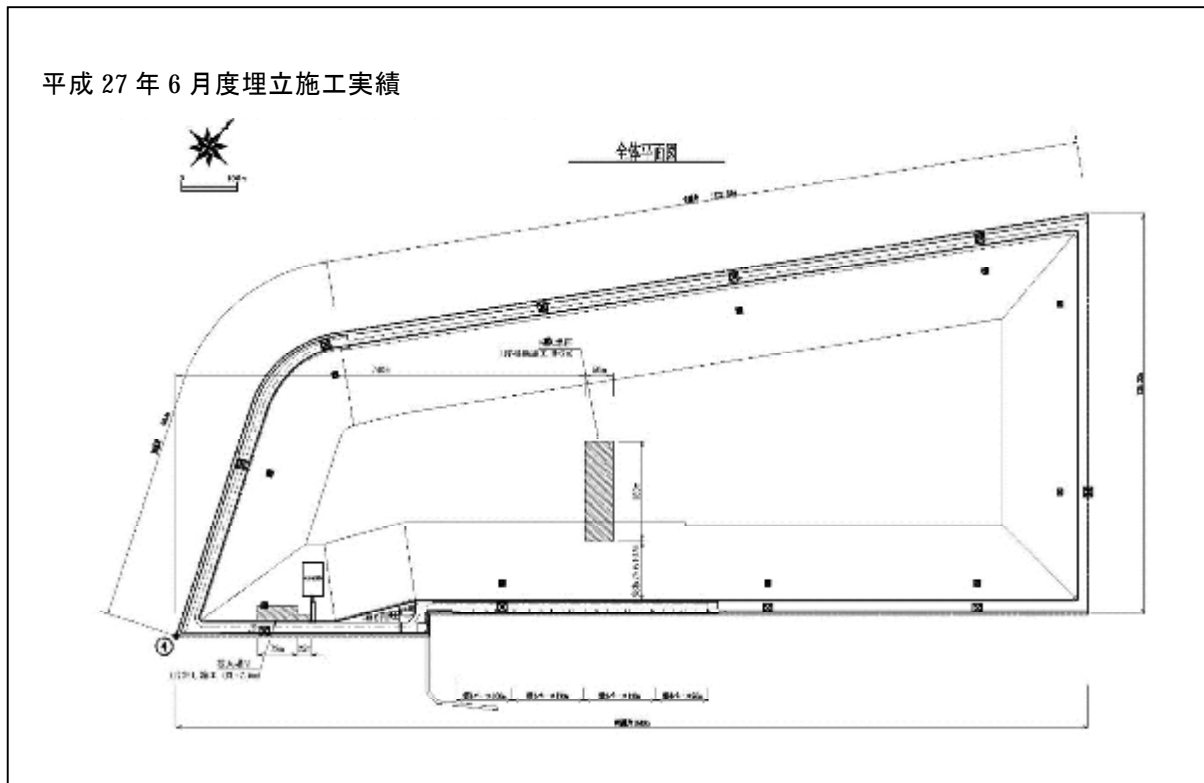


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 6 月)

2. 工事の実施状況

平成 27 年 6 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
3,274,280	23.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 27 年 6 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、**0.006ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.009ppm**、1時間値の最高値は**0.018ppm**であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、**0.023ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.035ppm**であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、**0.025mg/m³**であった。また、日平均値の最高値は**0.050mg/m³**、1時間値の最高値は**0.079mg/m³**であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で**7.9～8.1**、下層で**8.0～8.1**の範囲にあり、上層、下層ともに全地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で**2.0～3.3mg/L**、下層で**1.5～1.8mg/L**の範囲にあり、上層では調査地点**2、4**で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点**2(3.1mg/L)**、調査地点**4(3.3mg/L)**であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で**1.6～4.9mg/L**、下層で**1.2～3.6mg/L**の範囲であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で**5.7～6.5mg/L**、下層で**3.4～5.7mg/L**の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点**1、4**において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点**1(3.7mg/L)**、調査地点**4(3.4mg/L)**であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は下層で**0.6～11mg/L**であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で **0.38~0.82mg/L**、下層で **0.26~0.45mg/L** の範囲にあり、上層では調査地点 1 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (**0.82mg/L**) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で **0.46~2.1mg/L** であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で **0.060~0.13mg/L**、下層で **0.032~0.063mg/L** の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1、3、4 において環境基準値を上回っていたが、その他の調査地点では環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (**0.096mg/L**)、調査地点 2 (**0.12mg/L**)、調査地点 3 (**0.060mg/L**)、調査地点 4 (**0.13mg/L**)、調査地点 5 (**0.073mg/L**) 及び下層における調査地点 1 (**0.057mg/L**)、調査地点 3 (**0.051mg/L**)、調査地点 4 (**0.063mg/L**) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で **0.021~0.15mg/L**、下層で **0.020~0.25mg/L** であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で **1.8~3.4 度(カリン)**、下層で **2.3~8.0 度(カリン)** の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で **1~3 mg/L**、下層で **1~8mg/L** の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で **6.0~29 μ g/L**、下層で **0.7~1.1 μ g/L** の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）**とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成27年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (月)	0.007	0.015
	2 (火)	0.007	0.012
	3 (水)	0.004	0.010
	4 (木)	0.006	0.013
	5 (金)	0.005	0.008
別	6 (土)	0.005	0.008
	7 (日)	0.007	0.010
	8 (月)	0.005	0.010
	9 (火)	0.006	0.012
	10 (水)	0.006	0.011
	11 (木)	0.006	0.013
	12 (金)	0.006	0.015
	13 (土)	0.008	0.015
	14 (日)	0.008	0.017
	15 (月)	0.007	0.011
値	16 (火)	0.009	0.015
	17 (水)	0.007	0.013
	18 (木)	0.004	0.006
	19 (金)	0.004	0.008
	20 (土)	0.008	0.011
	21 (日)	0.006	0.018
	22 (月)	0.006	0.011
	23 (火)	0.007	0.011
	24 (水)	0.008	0.013
	25 (木)	0.007	0.014
	26 (金)	0.004	0.006
	27 (土)	0.004	0.007
	28 (日)	0.004	0.007
	29 (月)	0.005	0.011
	30 (火)	0.006	0.009
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.018	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成27年6月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (月)	0.002	0.008	
	2 (火)	0.003	0.010	
	3 (水)	0.005	0.034	
	4 (木)	0.002	0.004	
	5 (金)	0.016	0.059	
	6 (土)	0.001	0.003	
	7 (日)	0.001	0.002	
	8 (月)	0.004	0.011	
	9 (火)	0.022	0.076	
	10 (水)	0.005	0.037	
	別	11 (木)	0.007	0.038
		12 (金)	0.007	0.045
		13 (土)	0.002	0.005
		14 (日)	0.001	0.002
		15 (月)	0.004	0.021
16 (火)		0.009	0.048	
17 (水)		0.002	0.008	
18 (木)		0.001	0.003	
19 (金)		0.002	0.007	
20 (土)		0.003	0.014	
値	21 (日)	0.001	0.003	
	22 (月)	0.003	0.012	
	23 (火)	0.004	0.019	
	24 (水)	0.003	0.014	
	25 (木)	0.002	0.005	
	26 (金)	0.007	0.028	
	27 (土)	0.002	0.012	
	28 (日)	0.001	0.001	
	29 (月)	0.002	0.003	
	30 (火)	0.005	0.016	
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		715		
月平均値 (ppm)		0.004		
日平均値の最高値 (ppm)		0.022		
1時間値の最高値 (ppm)		0.076		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成27年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (月)	0.027	0.046
	2 (火)	0.026	0.040
	3 (水)	0.027	0.042
	4 (木)	0.018	0.032
	5 (金)	0.031	0.052
	6 (土)	0.013	0.026
	7 (日)	0.013	0.028
	8 (月)	0.026	0.039
	9 (火)	0.033	0.043
	10 (水)	0.033	0.046
別	11 (木)	0.033	0.047
	12 (金)	0.028	0.047
	13 (土)	0.025	0.050
	14 (日)	0.019	0.038
	15 (月)	0.024	0.038
	16 (火)	0.033	0.049
	17 (水)	0.025	0.045
	18 (木)	0.017	0.031
	19 (金)	0.021	0.037
	20 (土)	0.023	0.038
値	21 (日)	0.013	0.046
	22 (月)	0.023	0.032
	23 (火)	0.024	0.039
	24 (水)	0.024	0.040
	25 (木)	0.020	0.027
	26 (金)	0.035	0.053
	27 (土)	0.014	0.040
	28 (日)	0.005	0.012
	29 (月)	0.015	0.035
	30 (火)	0.031	0.047
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		715	
月平均値 (ppm)		0.023	
日平均値の最高値 (ppm)		0.035	
1時間値の最高値 (ppm)		0.053	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成27年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (月)	0.029	92.6	0.054
	2 (火)	0.029	90.2	0.048
	3 (水)	0.031	84.6	0.062
	4 (木)	0.020	91.3	0.034
	5 (金)	0.046	66.5	0.104
	6 (土)	0.015	90.8	0.029
	7 (日)	0.014	92.5	0.029
	8 (月)	0.030	86.6	0.049
	9 (火)	0.055	59.8	0.118
	10 (水)	0.038	87.1	0.075
別	11 (木)	0.041	82.5	0.083
	12 (金)	0.036	79.3	0.087
	13 (土)	0.026	94.1	0.054
	14 (日)	0.020	95.4	0.040
	15 (月)	0.028	86.7	0.057
	16 (火)	0.042	78.1	0.094
	17 (水)	0.027	92.7	0.053
	18 (木)	0.018	94.5	0.034
	19 (金)	0.023	91.6	0.044
	20 (土)	0.025	89.7	0.051
値	21 (日)	0.014	92.0	0.049
	22 (月)	0.026	88.4	0.042
	23 (火)	0.028	86.3	0.054
	24 (水)	0.027	89.8	0.051
	25 (木)	0.021	91.1	0.031
	26 (金)	0.042	83.8	0.080
	27 (土)	0.016	88.5	0.050
	28 (日)	0.006	87.4	0.013
	29 (月)	0.017	90.6	0.038
	30 (火)	0.036	84.8	0.052
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		715		
月平均値 (ppm)		0.028		
日平均値の最高値 (ppm)		0.055		
1時間値の最高値 (ppm)		0.118		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		84.6		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値 $NO_2 / (NO+NO_2) =$

$(NO$ 及び NO_2 が同時測定されている時間の NO_2 濃度の日(月)間にわたる総和) /
(NO 及び NO_2 が同時測定されている時間の $NO+NO_2$ 濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成27年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (ng/m^3)	1時間値の 最高値 (ng/m^3)	
日	1 (月)	0.024	0.048	
	2 (火)	0.035	0.053	
	3 (水)	0.023	0.040	
	4 (木)	0.017	0.034	
	5 (金)	0.019	0.036	
	6 (土)	0.013	0.034	
	7 (日)	0.017	0.037	
	8 (月)	0.014	0.033	
	9 (火)	0.020	0.048	
	10 (水)	0.024	0.040	
	別	11 (木)	0.028	0.045
		12 (金)	0.033	0.057
		13 (土)	0.050	0.079
		14 (日)	0.026	0.044
		15 (月)	0.028	0.048
16 (火)		0.043	0.078	
17 (水)		0.040	0.058	
18 (木)		0.018	0.037	
19 (金)		0.015	0.034	
20 (土)		0.023	0.039	
値	21 (日)	0.022	0.037	
	22 (月)	0.026	0.047	
	23 (火)	0.036	0.060	
	24 (水)	0.034	0.054	
	25 (木)	0.031	0.045	
	26 (金)	0.018	0.042	
	27 (土)	0.016	0.032	
	28 (日)	0.012	0.026	
	29 (月)	0.015	0.039	
	30 (火)	0.024	0.045	
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		715		
月平均値 (ng/m^3)		0.025		
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.050		
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.079		
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）

は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成27年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多
		平均 風速 (m/s)	最大風速		風向 16方位
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (月)	0.7	1.5	WSW, SW	WSW
	2 (火)	0.7	2.2	W	CALM
	3 (水)	0.7	1.6	NNE	CALM
	4 (木)	1.0	1.9	WNW	NNW
	5 (金)	1.0	1.9	NE, NNE	NNE
	6 (土)	0.9	1.9	WNW	NW
	7 (日)	0.7	1.8	WSW	WNW
	8 (月)	1.3	2.5	ESE	ENE
	9 (火)	0.7	1.4	N, SW	CALM
	10 (水)	0.7	1.8	WSW	WSW
	11 (木)	0.8	1.7	ESE	NE
	12 (金)	0.7	1.6	WSW	CALM
	13 (土)	0.7	1.7	WSW	CALM
	14 (日)	0.6	2.0	W	W, WNW
	15 (月)	0.7	1.4	W	W
別	16 (火)	0.4	1.1	SW	CALM
	17 (水)	0.8	2.3	W	NW
	18 (木)	1.9	3.7	ESE	E
	19 (金)	1.3	2.3	N	NNE
	20 (土)	0.6	1.3	WSW	WNW
	21 (日)	0.8	1.6	WSW, W	W, N
	22 (月)	0.8	1.9	W	W, WNW
	23 (火)	0.9	2.5	WSW	CALM
	24 (水)	1.0	2.1	WSW	WNW
	25 (木)	1.0	2.2	WSW	WSW, NW, CALM
	26 (金)	1.1	2.0	ENE	E
	27 (土)	1.3	3.3	WSW	WSW
	28 (日)	1.0	2.2	N	NW, NNW, N
	29 (月)	1.1	2.0	WSW	WNW
	30 (火)	0.7	1.6	WSW	CALM
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		0.9			
月最大風速 (m/s)		3.7			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号 (埋立地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年6月分]

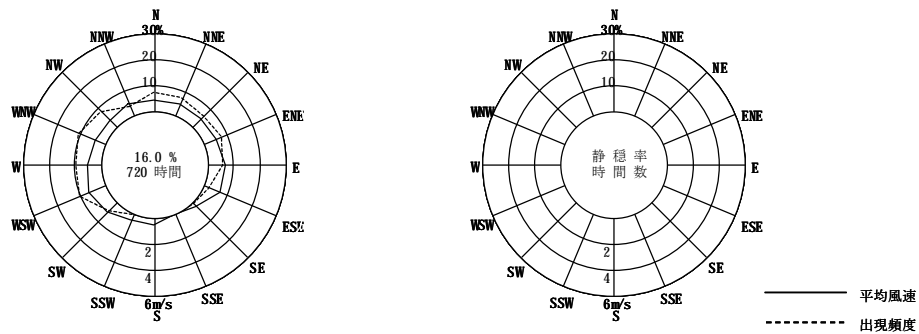
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	53	43	56	42	17	6	0	1	3	28	75	66	76	58	29	52	115	720
頻度 (%)	7.4	6.0	7.8	5.8	2.4	0.8	0.0	0.1	0.4	3.9	10.4	9.2	10.6	8.1	4.0	7.2	16.0	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.0	1.1	1.4	1.4	0.5	-	0.5	0.5	1.0	1.3	1.0	0.8	0.7	1.0	0.9	0.2	-

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局: 南港中央公園局

風向風速計高さ: 14.2m

凡例



注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年6月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成27年6月分]

調査日：平成27年6月9日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	8:40	8:18	8:59	9:40	9:23	—			—	
透明度 [m]	2.7	2.6	3.5	3.0	3.4	2.6	～	3.5	3.0	
水温 [°C]	19.3	19.3	19.2	19.5	19.3	19.2	～	19.5	19.3	
	18.7	18.7	19.0	18.7	18.8	18.7	～	19.0	18.8	
塩分 [—]	25.70	25.01	29.56	27.34	30.36	25.01	～	30.36	27.59	
	32.49	32.40	32.25	32.38	32.39	32.25	～	32.49	32.38	
濁度 [度(カリン)]	3.1	2.6	1.8	3.4	1.9	1.8	～	3.4	2.6	
	7.3	2.3	2.7	8.0	6.2	2.3	～	8.0	5.3	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	2	3	1	3	1	1	～	3	2	
	4	2	1	8	6	1	～	8	4	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.0	7.9	8.1	8.1	8.1	7.9	～	8.1	-	
	8.0	8.1	8.1	8.0	8.1	8.0	～	8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.7	3.1	2.1	3.3	2.0	2.0	～	3.3	2.6	
	1.5	1.6	1.8	1.5	1.6	1.5	～	1.8	1.6	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	5.9	5.7	6.0	6.5	6.3	5.7	～	6.5	6.1
		3.7	5.4	5.7	3.4	5.3	3.4	～	5.7	4.7
	飽和度 [%]	75	72	78	83	82	72	～	83	78
		48	70	75	44	69	44	～	75	61
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.82	0.49	0.38	0.57	0.52	0.38	～	0.82	0.56	
	0.36	0.45	0.26	0.33	0.27	0.26	～	0.45	0.33	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.096	0.12	0.060	0.13	0.073	0.060	～	0.13	0.096	
	0.057	0.032	0.051	0.063	0.048	0.032	～	0.063	0.050	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	9.5	10	6.0	29	6.7	6.0	～	29	12	
	0.7	1.1	0.9	0.9	0.7	0.7	～	1.1	0.9	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
